



いずみさの

No.182
2022.11 .1

市議会だより



New Topics

令和3年度決算を認定しました

目次

- ◆議会活動報告.....2
- ◆9月定例会の結果報告..... 3~6
- ◆一般質問..... 7~11
- ◆ご案内.....12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。 [泉佐野市議会](#)

[検索](#)



第4回みらい泉佐野こども議会

8月7日

今年、3年ぶりにみらい泉佐野こども議会を開催することが出来ました。チラシ配布などで募集した7名のこども議員さん（小学生7名）からの意見に代表の議員がお答えする形で行いました。



こども議員代表の臨時議長

みらいこども議会はこども議員さんと市議会議員の意見交換の場ですので、これから各議員が一般質問などをしながら改善出来るように取り組みたいと思います。

早速、9月議会で質問する議員もいました。

皆さんの意見でより良い泉佐野市をめざしていきますので、よろしく願いいたします。



〇×クイズの様子

一番多かったのが学校に対する質問で、給食・遊具・教室・行事・登校時の荷物についてでした。また、リサイクル施設について、環太平洋経済連携協定(TPP)についての質問もありました。とても頼もしく感じました。



ビデオによる参加もありました

議員研修

8月3日

一般社団法人 SNS エキスパート協会代表理事 後藤 真理恵氏を講師を迎え、「SNSで広がる市民とのコミュニケーション～安全で効果的な活用方法とは～」をテーマに大阪府南部市議会議長会による議員研修会が開かれました。

9月1日

特定非営利活動法人キリンこども応援団 代表理事の水取 博隆氏を講師に迎え、「子ども達の居場所創りの重要性」をテーマに議員研修会を開催しました。

対象者を限定せずに、誰もが利用できる地域に共生するこども食堂を運営されるほか、子ども達の居場所創りにも積極的に取り組まれています。また、チャレンジすることの大切さを説き、子ども達が試行錯誤をしながら、全て自分たちで行うことで得られる達成感が大きな成長をもたらすこと、周りの大人は子ども達の判断を尊重し、必要最低限のアドバイスにとどめて見守ることなど、実際の活動に基づきお話いただきました。



9月定例会議を開催

議案
第56号

旧慣による公有財産の使用権の 廃止について

可決
全会一致

泉佐野市上町1丁目のため池（通称「矢畑池」）が農業利用等の使用が行われていないことから、旧来の慣行により使用している公共財産の使用権を廃止するものです。

議案
第57号

財産の処分について

可決
全会一致

議案56号と関連して、泉佐野市上町1丁目のため池（通称「矢畑池」）を一定の条件（災害対策等）をつけて売却するものです。

議案
第63号

令和4年度泉佐野市一般会計 補正予算（第6号）

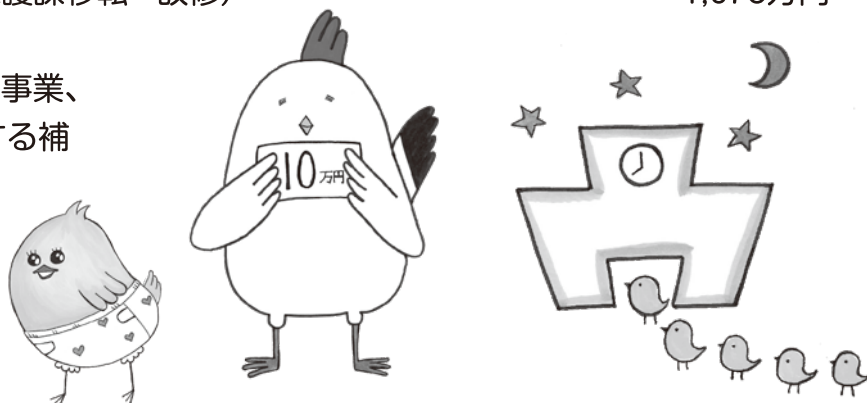
可決
全会一致

今回の補正予算額は歳入歳出それぞれ5億3,699万4千円を追加するものです。

主な内容は、下記のとおりです。

- ・民間保育所対策事業（紙おむつ持帰り廃止・感染症対策改修整備への補助など） 2,095万4千円
- ・泉佐野市の未来を創る教育事業（コロナ減収・物価高騰対策で中学3年生保護者に進学・就職の準備費用生徒一人当たり10万円給付） 9,144万1円
- ・小・中学校施設管理事業（教室に更衣用の間仕切りカーテン設置） 1,473万4千円
- ・夜間中学校整備事業（佐野中学校に夜間学級設置の実施設計・卓球場移設新築の地質調査） 999万1千円
- ・史跡日根荘遺跡整備事業（七宝瀧寺の参道倒木除去・環境整備） 1,000万円
- ・庁舎整備事業（元朝日湯に文化財保護課移転・改修） 1,075万円

その他、シティプロモーション推進事業、新たな生活様式推進事業などに関する補正予算を審議しました。



認定
第1号

令和3年度泉佐野市一般会計歳入 歳出決算の認定について

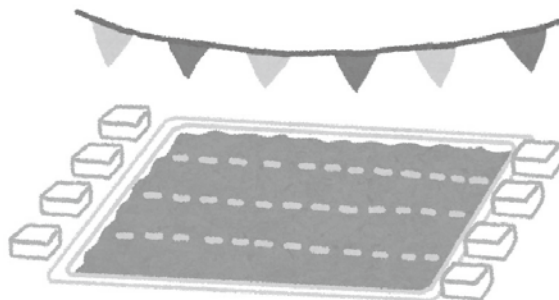
可決
賛成多数

令和3年度泉佐野市一般会計決算並びに各事業・特別会計の決算について「決算特別委員会」を設置し、3日間の審査を経て全ての決算が認定されました。

令和3年度における一般会計歳入歳出決算の特徴としては、令和元年度に策定した中期財政運営方針に基づく事務事業の継続した見直し等による歳出削減のほか、国・府の新型コロナウイルス感染症に関連する財政支援の積極的な活用及び、各目的基金の活用、遊休土地の積極的な売却、ふるさと応援寄附の推進などの歳入確保に努めた事で、前年度に引き続き3億8,500万円の黒字となりました。



当該年度における主要事業としては、市営プール（第一小学校プール）の設置、新池中学校グラウンドの夜間照明整備の他、災害時に避難所となる小中学校の屋内運動場への空調機器整備（3か年計画最終年度）、泉佐野土丸線整備、新町テニスコート整備、鶴原団地住宅（8～15棟）建替、地域防災計画・ハザードマップの見直し、公益活動助成金の創設、観光推進や中心市街地の活性化のための交付金関連事業、新型コロナウイルス感染症予防接種の実施等、幅広い施策に取り組みました。



議決結果一覧表 全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第55号	泉佐野市基金条例の一部を改正する条例制定について 泉佐野市魅力創造発信基金の創設に伴い、泉佐野市基金条例の一部を改正する議案。
議案第58号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について 国家公務員に係る人事院規則が改正され、施行されることに合わせ、職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する議案。
議案第59号	令和3年度泉佐野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和3年泉佐野市水道事業会計未処分利益剰余金を建設改良積立金と資本金に組み入れる議案。
議案第60号	令和3年度泉佐野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和3年泉佐野市下水道事業会計未処分利益剰余金を建設改良積立金と資本金に組み入れる議案。
議案第61号	不当利得返還請求事件の訴えの提起について 元職員による公金詐取金が子ども名義の口座に振り込まれていたことによる2,909万1,483円とこれに対する令和3年4月19日から支払済まで年3%の法定利率分の返還請求訴訟を行うための議案。
議案第62号	泉佐野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について 大阪府後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の保険料軽減特例措置の廃止による本市の条すれを改正する議案。
議案第64号	令和4年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 未就学児均等割保険料の減額分を申請するためのシステム改修16万5千円。
議案第65号	令和4年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ・介護給付費準備基金積立金事業(社会保険診療報酬支払基金と決算剰余金から下記国と府への返還金を差し引いた分の基金積立) 1億5,646万4千円。 ・返還金事業(国・府への返還金) 1億3,648万6千円。
認定第2号	令和3年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	令和3年度泉佐野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第6号	令和3年度泉佐野市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第8号	令和3年度泉佐野市水道事業会計決算の認定について
認定第9号	令和3年度泉佐野市下水道事業会計決算の認定について
議案第66号	工事請負契約締結について 長南小学校プール整備工事についての議案。
議案第67号	令和4年度の泉佐野市一般会計補正予算(第7号) 新型コロナワクチンの接種に関する予算として4億4,072万9千円、道路維持補修工事費として1千万円などの補正予算。
議員発議第17号	泉佐野市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について 新型コロナウイルスなど重大な感染症のまん延防止措置の観点から、又は大規模な災害等の発生により参集が困難である場合、また、公務、疾病などその他のやむを得ない事由により、参集が困難な場合において、オンラインを活用した委員会の開会を可能とするため条例の一部を改正する議案。

議案番号	案 件
議員発議第18号	泉佐野市議会会議規則の一部を改正する規則制定について 議員発議第17号と同様に、感染症のまん延防止や大規模な災害等の発生、その他やむを得ない事由により、委員会への参集が困難な場合において、オンラインを活用した委員会が開催できるよう会議規則の一部を改正する議案。
議員発議第19号	地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書の提出について
議員発議第20号	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出について

議案第56号、57号、63号は3ページをご覧ください。

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議案第54号	泉佐野市地方独立行政法人の役員等の損害賠償責任の一部免除に関する条例制定について 地方独立行政法人の役員等の損害賠償責任について、善意で重大な過失がないときに、損害賠償責任の一部免除の額を定める条例。	可決
認定第4号	令和3年度泉佐野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
認定第5号	令和3年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
認定第7号	令和3年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
議員発議第21号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	可決

認定第1号は4ページをご覧ください。

議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

議員名 議案名	新緑未来		正道の会	チーム泉佐野創生			大阪維新の会				再生市民の会	自民党		共産党	公明党			
	中藤大助	布田拓也	中村慎作	向江英雄	大和屋貴彦	野口新一	新田輝彦議長	日根野谷和人	射手矢真之	峰浦修平	中庄谷栄孝	西野辰也副議長	高橋圭子	高道一郎	岡田昌司	辻中隆	大庭聖一	松村正秀
議案第54号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認定第4号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認定第5号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認定第7号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議員発議第21号	○	×	○	○	○	○	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対

一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。



「演壇」
この場所で質問を行います。



▲議会中継のQRコード

各議員の一般質問の内容は、本会議での発言を要約しています。質問の全内容は、インターネットで泉佐野市議会ホームページの「議会中継」または、「会議録検索」(11月末日配信予定)をご覧ください。

公明党
泉佐野市会議員団 代表
辻中 隆 議員



防災について(マンホール・トイレの進捗状況について)

Q 本年7月に熊本県益城町へ議員団で視察調査してまいりました。令和2年12月議会での質問では、設置検討を行うとの答弁でしたが、その後の予算額と進捗状況について質問します。

A 令和3年度に850万円の予算をご承認頂き、設置するトイレの数及び場所の選定並びにマンホールトイレの処理方式などについて検討を進めています。

本市の指定避難所のうち、小学校7校、中学校2校、その他の避難所9カ所及び災害対応の活動拠点3カ所、合計21カ所について設置の検討を行いました。

令和5年度から整備に着手し、設置可能な20カ所の指定避難所については5年から6年かけて整備する予定です。



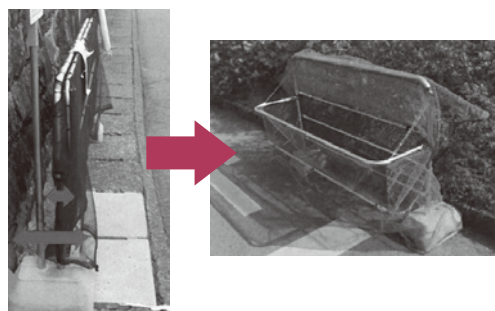
- ・防災について
- ・ゴミ出し支援について
- ・デジタル化(各種カード)について
- ・バス停の見直しについて

ごみ出し支援について(カラスを含む鳥獣被害対策助成について)

Q 本年7月に議員団で鹿児島県鹿児島市へ「折り畳み式ごみステーション」を視察調査してまいりました。収集方法や時間的な問題、整備経費の補助等、是非導入すべきだと思いますが。

A 箱型のごみステーションは防衛ネットより管理の負担が少なく、鳥獣被害対策に効果的な手段の一つと考えます。

現時点では、町会や自治会等で管理されている集積場所、折り畳み式のごみステーションが設置可能なモデルケースとなる場所を選定し、試験的にごみ出しや収集作業を行います。



- ・空家問題について
- ・認知症高齢者支援について
- ・男性トイレへの対応について
- ・移住・定住、地域活性化について

デジタル化について(マイナ 保険証負担軽減について)

Q 本市でのマイナカードの普及率と、10月から適用される医療機関等での年金者をはじめとする患者の負担軽減に対する取り組みについて市独自の軽減措置はとれないものか。

A 令和4年9月11日時点の本市のマイナンバーカードの普及率は交付件数51,349件、交付率51.95%となっています。

マイナ保険証対応の医療機関では、10月から3割負担であれば初診料が、マイナ保険証利用では15円減額され、マイナ保険証でない場合は3円増額されることになります。本市国保では、令和4年度決算の状況により増え、負担増への取り組みも含め、被保険者の負担軽減を検討いたします。



男性トイレへの対応について (サンタリーボックス(汚物入れ)設置について)

Q 全国の多くの自治体で設置が普及している。ある自治体の担当者には、来庁者が多く利用する市役所本庁舎や公共施設のトイレへの設置を進めるとの事。本市でも速やかに設置すべきではないか。

A 本市の市役所本庁舎の男子トイレにおいての設置状況は、本館1階及び5階の多目的トイレの2カ所に設置しておりますが、その他の男性トイレ20カ所には設置していません。

尿漏れパッドやおむつを使用する方が安心して市役所に来庁していただけのように、本庁舎の男性トイレへの設置を進め、トイレ入り口付近にサンタリーボックスを設置していることを表示し、誰もが安心して利用しやすい市役所を目指してまいります。設置につきましては、今年中にまいります。



大阪維新の会

泉佐野市会議員団 代表
眞之 議員



ICT教育について

Q OECD加盟国の中で最低水準と言われているが、社会においてデジタル化は今後も加速度的に進むと思われる中、ICT教育の環境整備は早急に対応していく必要があると考える。泉佐野市の現状についてはどうか？

A 本市においても、学校内におけるネットワーク環境と一人一台端末の整備を一体的に進め、令和3年2月末をもって18校すべての小中学校の学習教室におけるPC端末活用に向けた整備を終えております。令和4年度は、小中学校の体育館、及び武道場の通信ネットワーク環境の整備を完了する予定です。

Q メクビット利用については？

A 文科省開発のオンラインの学習システムで、本市も登録はしておりますが、実際の活用はまだこれからです。

Q 感染症や災害の発生等を乗り越えて学びを保障する事はできるのか、またそれに向けた取り組みに

- ・ICT教育について
- ・大阪関西万博へ向けた取り組みについて
- ・通学路の安全確保について
- ・防災について

ついてはどうか？

A やむを得ず登校できない場合に実際に保障するため、PC端末の家庭での活用に向けて市内一斉のPC端末の持ち帰り練習を実施し、その後も段階を追って家庭でのPC端末の有効的な活用の実現に向けて準備を進めてきたところです。今後もICTを活用した教育活動の推進に努め、いつでも、どこでも主体的、対話的で深い学びによって課題を追究していく事ができる「生きる力」を育む教育を目指してまいります。

大阪関西万博に向けた 取り組みについて

Q 大阪府との連携についてどんな取り組みを行っているのか？

A 各施設でのポスター掲示やチラシの配架、のぼりの設置のほか、りんくうタウン駅ビルのデジタルサイネージに画像を掲載するなど大阪府・大阪市と連携した広報活動により、万博開催に向けた機運醸成に努めているところです。

- ・ひきこもり支援について
- ・JR熊取駅西地区の開発に伴う道路の整備について
- ・障がい者に対する交通手段の支援施策について

Q 泉佐野市にとっても大きなチャンスと言える大阪関西万博の経済波及効果を、一過性のもではなく、その後も持続的に泉佐野市の発展に寄与できるように、どのような取り組みを考えているのか？

A 本市では、大阪関西万博という国内外から多くの人が大阪に訪問されるイベントにおいて、その交通の要所となる関西国際空港を市域に持つという強みを活かし、地域の活性化を図る取り組みをしていきたいと考えております。万博後も本市の豊富な観光資源を楽しんでいただけるような宿泊や特産品購入など、リピート率の上昇に寄与する施策に取り組んでまいります。

Q 民間も巻き込み協力する事で、より効果的に魅力の発信ができ、機運の醸成にもつながると考えますが、現在何か取り組みはしているのか、また今後の取り組みについてどう考えているか？

A 市の公用車へ万博PRのマグネツトステッカーを貼付しているほか、大阪タオル工業組合と連携し、特産品のPRや万博の機運醸成に寄与し

ながらSDGsにも貢献できる取組みとして、博覧会協会の「共創チャレンジ」に登録しています。今後は万博のインパクトを最大限活用した地域の活性化、経済成長に資する様々な取り組みに努めます。

Q 観光に対して和歌山県や奈良県と広域で連携する事で、新たな資源の発掘と観光誘致効果を高めることにつながると考えるが、泉佐野市としてどう考えるか？

A 本市は閑空があり宿泊施設も多くある事から、万博期間中はもちろん万博期間以外にも、行き帰りに本市に宿泊していただくことが多いと思われれます。今後は観光資源を有する地域との連携として、和歌山県田辺市熊野ツーリズムビューローと連携するなど、本市が観光の目的地となれるよう多様な取り組みに努めてまいります。



自由民主党

泉佐野市会議員団 代表

高橋 圭子 議員



インクルーシブ遊具の今後の計画について

Q りんくうアイスパークで、設置予定の年令・性別・スペシャルニーズの有無を問わず誰もが利用できるインクルーシブ遊具の今後の計画について教えてください。

A 現在りんくうアイスパークにおいて、大型インクルーシブ遊具の設置に向け工事施工中です。また、改修中の末広公園のちびっこ広場の導入も検討いたします。

新生児聴覚検査について

Q 難聴児の早期発見・早期療育開始を目的に、出生した医療機関で、入院中に検査が行なわれる自動聴性脳幹検査と耳音響放射検査の検査状況について教えてください。

A 自動聴性脳幹検査は「自動ABR」、耳音響放射検査は「OAE」と言われ、ベッドサイドで自然睡眠下に短時間で実施でき、検査結果が自動的に解析される機能を持った簡易聴覚検査機器です。簡便で短時間に多くの新生児の検査・判定を行うこ

- ・公園整備について
- ・証明証等自動交付機の市役所内設置について
- ・新生児聴覚検査について

とができ、新生児の難聴の有無を早期に発見することが期待できます。本市における出生数に対する受検割合は自動ABRとOAEを合わせて、100%に近い割合で、ほとんどが自動ABRによる検査となっています。

Q 聴覚障害が発見された場合に、こどもが速やかに適切な医療・療育にアクセスできるサポート体制を紹介してください。

A 新生児の段階で分かった場合には、精密検査医療機関から保護者に説明がされ、府内に複数箇所ある早期支援機関が紹介されます。また、保護者の方の不安が高い、精神的な動揺がある、などがあれば、専門職の訪問や面談などにより保護者に寄り添い支援をいたします。新生児期に異常はなくその後、本市の訪問や健診で聴覚障害が疑われる場合には、医療機関を紹介するとともに、お子様の発達状況を見守りながら、保護者の相談に応じ、保護者の不安解消とお子様への発達支援に努めます。



新緑未来 代表

中藤 大助 議員



- ・学校給食について
- ・林業について
- ・買い物弱者について

学校給食について

Q 現給食センター（小学校給食センター）の老朽化が進んでいるようですが、新たに建設する予定の有無について、及び、それまでの間、施設の食の衛生管理等、安全対策についてお伺いします。

A 設備の老朽化に対応するため、建替の検討を始め、中学校給食センターに増築する形で建設準備を進めています。現中学校給食センターに新しい小学校給食センターを併設し、運営を一本化することにより効率化を図っていく方向で考えています。

現行の学校給食衛生管理基準を満たしていない事項、夏場には30度を超える調理室内の室温の改善が喫緊の課題であると認識しています。調理室全体の空調を新設するには多額の費用と工事期間を要するため、現状は調理業務従事者用のスポットクーラーの設置に取り組んでいます。

買い物弱者対策について

Q 高齢社会及び、核家族化が進む中、買い物弱者対策への取組み

は急務であると考えます。地域内での互助・共助も不可欠だが、行政主導の下、民間業者との連携は図れないのでしょうか。

A 本市では平成26年度から買い物弱者を対象として、食料品など生活必需品の移動販売を大阪いずみ市民生活協同組合に委託して実施しております。約800品目の品揃えをした移動販売車があらかじめ決められた停留所を週1回巡回して買い物困難な方への支援事業として実施しています。現在、9地域21か所の停留所において移動販売が行われています。

本年7月分の延べ利用者数は623人で、移動販売時には各地域の福祉委員会の協力を得て、安否確認や地域の憩いの場となっています。



チーム泉佐野創生 代表

大和屋 貴彦 議員



- ・JR日根野駅の踏切立体交差化と浜側ロータリーの整備について
- ・子どもたちが求める学びを手にするための塾代助成制度の実現をめざして

JR日根野駅の踏切立体交差化と浜側ロータリーの整備について

Q JR日根野駅踏切の立体交差化の可能性は。

A JR日根野駅踏切の立体交差化の可能性がある。道幅が狭く、鉄道の許容最急勾配により物理的に不可能と考察され、JR日根野駅踏切の立体交差化は、現在では実現が極めて困難です。

Q 駅浜側における送迎・交通の危険な状況を把握しているか。

A 市民の皆様の情報により把握しています。JR西日本に申し入れを行い、改善はされていると聞いていますが、踏切遮断の時間短縮につながる要因が少ないようです。

Q 駅浜側のロータリー整備についてご検討いただきたい。

A 浜側ロータリーについては、市として本格的に考えていかなければならないと思っています。地元の方々の協力なしには進めることができませんので、ご意見やお声を聞かせていただきながら、どのような形が望ましいか考えてまいります。

子どもたちが求める学びを手にするための塾代助成制度の実現をめざして

Q 大阪市の塾代助成制度を導入した場合のシミュレーションは。

A 本市の中学生全体の約5割を対象として、毎月1万円を支給すると助成費用のみで年間約1.6億円程度必要で、加えて事業運営の経費が加算されます。

Q 試験的な導入も視野にご検討いただきたいのですが、いかがでしょうか。

A 教育格差の是正については、本市は生活保護基準の2倍まで就学援助を拡大しています。義務教育課程でかかってくる費用を就学援助という形で、さらに幅広く支援できた先に塾代助成制度が考えられるのではないかと考えます。

食糧確保とオーガニック農産物確保に向けた市独自の農業戦略を

Q 泉佐野市内農産物の生産量の推移についてはどうか。

・食糧確保とオーガニック農産物確保に向けた市独自の農業戦略を

A 本市の産出額は農林水産省の統計で、平成29年の30億4千万円に対し、令和3年は27%減の22億3千万円で8億1千万円減少しています。これは平成30年の台風21号による農業ハウスの被災を原因とする離農及び経営規模の縮小が一因となっているようです。

Q 付加価値を高めるオーガニック農産物の増加に向けた取組は。

A 今年度、有機農業に関するアンケート調査を実施する予定です。有機農業に関心を持つ農家の割合や地域などの現状把握を行い、補助制度や支援制度などの情報を発信し、有機農業に取り組む方々を支援してまいります。

Q 指定棚田地域振興活動計画を定めた棚田保全協議会等を作り、保全に力を入れるべきではないか。

A 大木地区の棚田は、重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」の構成要素でございまして、関係部署と連携して現状把握を行い、保全に努める必要があると考えています。

高道 一郎 議員

・児童・生徒の荷物の軽減について
・10月からの窓口業務独法化について



窓口業務独法化について

Q 10月からの窓口業務独法化で、大混乱が生じている。6月議会で市が説明した、法人が民間事業者で1億円で「丸投げ」委託するやり方が、総務省の了解を得られていない。市が直接民間委託する予算も組まれていない。一体どう解決し、混乱を抑えるのか。

A 法人（地方独立行政法人）が担う業務については、スムーズな業務移行を検討しています。現在、業者との協議を進める中で、市との業務分担に時間を要すること、業務フローの詳細に検討を重ねなければならぬこと、法人の人材確保に関する課題、また、関係各課と窓口についての調整に課題があることから、一定の業務フローが整備されるまでの間、子育て部門を法人直営に、それ以外は引き続き市の業務としますが、今後は段階的に法人へ業務移行する予定です。なお、予算については流用することとし、現行の窓口業務は何ら混乱が生じるものではありません。

その他の一般質問

中庄谷 栄孝 議員

- ・校務員室のエアコン設置
- ・学校教育について
- ・高齢者支援について
- ・町会自治会活動促進袋について



中村 慎作 議員

- ・町内会、子ども会の担い手サポートを
- ・民生児童委員について
- ・被災時の新独立行政法人職員の役割は？



※議員間の申し合わせにより、個人質問は年間2回まで希望の号に掲載し、それ以外の号は質問項目のみを掲載しています。

補欠選挙

市議会議員の死亡や辞職により議員定数に欠員が生じた時、補欠選挙が50日以内に行なわれます。欠員が定数の6分の1を超えた時（本市は現在定数18人です）ので3人を超えたとき）に補欠選挙が行われますが、この条件を満たさない場合でも、市長の選挙が行われる場合、選挙の告示の日前10日までに欠員があれば、同時に補欠選挙が行われます。

ただし、任期満了の6か月以内に欠員が生じた場合、補欠選挙は行われません。（なお、議員の数が定数の3分の2に達しなくなった場合はこの限りではありません。）

議会豆知識



意見書

3件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書

全会一致

送付先 総務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、デジタル田園都市国家構想担当大臣



女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

全会一致

送付先 財務大臣、経済産業大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣（男女共同参画）、デジタル田園都市国家構想担当大臣



シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

賛成多数

送付先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣



市議会を傍聴しませんか

◆12月定例会の日程表◆

- 12月6日(火) 本会議(議案説明)
- 12月7日(水) 総務産業委員会
- 12月8日(木) 厚生文教委員会
- 12月12日(月) 関空りんくうまちづくり特別委員会
- 12月13日(火) りんくう総合医療センター対策委員会
- 12月14日(水) 行財政委員会
- 12月20日(火) 本会議(一般質問)
- 12月21日(水) 本会議(一般質問)
- 12月22日(木) 本会議

※本会議及び委員会の傍聴につきましては、新型コロナウイルスの感染対策のため、状況により傍聴中止や席の間隔を開けていただくなどのご協力をお願いすることがあります。

市議会のホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

※いずれの会議も午前10時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

※手話通訳をご希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。

表紙の写真



8月7日に「第4回みらい泉佐野子ども議会」を開催しました。

市議会だより編集委員

高橋圭子	中庄谷栄孝	射手矢真之	中藤大助	松村正秀	副委員長	野口新一	委員長
------	-------	-------	------	------	------	------	-----